

清水港の「地震災害対策」最前線！！

地震災害が起こったとき、清水港が果たす役割は、何といってもまず緊急物資の受入れです。陸送が困難になった場合にも、各地からの応援物資を大量に受入れることができるからです。そのために、清水港では「清水港地震対策連絡会議」を立ち上げ、定期的に訓練を実施しています。

また、災害発生後、清水港の港湾機能がダメージを受けた場合、機能不能が長期化すると、産業活動に大きな影響を与えることから、港湾機能の早期復旧対策の検討も進めています。

緊急物資の受入体制を整備 -地震災害対策マニュアル-

大規模地震が発生した場合、清水港は県中部地区が必要とする食料や生活必需品、応急復旧資機材等の重要な輸送拠点となります。清水港では、受入対象岸壁の耐震化を図る等施設整備を進めると同時に、災害時に関係機関が緊急対応業務を連携して実施できるよう「地震災害対策マニュアル」を作成し、それに基づいた訓練を行っています。

今秋には海上保安部が訓練の一環として、日の出埠頭で給水訓練を計画しています。これは災害が起こった際に、海上輸送した水を、船の給水タンクからトラックのタンクへ移し変え、避難所など各地へ輸送するための訓練です。このような給水訓練の他、人や物資を運ぶための訓練を年間を通して実施しています。

“BCP”への取組み -災害復旧プログラム-

清水港では現在、発災後概ね2週間で新興津コンテナターミナルを再開することを目標として「新興津地区コンテナターミナル地震災害復旧プログラム」を作成中です。作成にあたっては、行政、港湾関係者及び地元施工業者等が共通の認識を持って行動できるよう、これら関係機関で構成する協議会を立ち上げ、調査の進行段階に応じた図上訓練を取り入れて検討を進める予定です。

関係者の平常時における対策や、発災後概ね2週間における具体的な行動手順書を作成し、災害のダメージを最小限に食い止められるよう検討しています。

■東海地震による港湾施設の被害状況の想定
コンテナターミナル（岸壁、ヤード）／ガントリークレーン／アクセス道路／ライフライン等

■港湾物流の被災シナリオの想定

■被害低減対策、復旧対策の検討

■災害復旧プログラムの検討

■経済効果の検討

★BCPって？ BCP=Business Continuity Plan 事業継続計画

災害時における事業継続を確実にするための対応策のことです。企業や行政の機能不全を最小限に抑え、また早期復旧に努めるため、施設整備や復旧プログラムを策定し、普段から危機に備えることを言います。

静岡県は東海地震の危険性も叫ばれてるし、普段から災害に備えてマニュアル作成や訓練を行っているんだね！



インサイド 清水港「クリーンアップ」活動

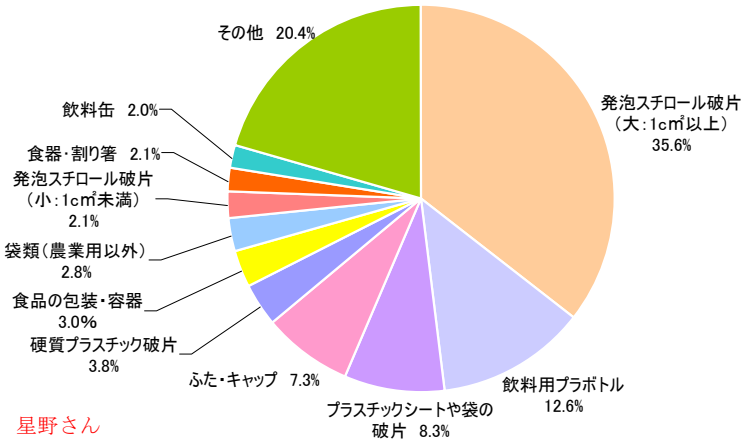
NPO 法人 Be-club の活動報告から

クリーンアップとは？

国際海岸クリーンアップの目標は海岸をきれいにするだけにとどまらず、ゴミを調査して汚染の原因を突き止め、汚染の発生を防止することです。クリーンアップで回収したゴミは、世界共通のデータカードに基づいてデータ集計されます。

ひとつにつながっている海で、統一されたデータカードを使って、一斉に行うことにより地域毎の問題点、世界的傾向がつかめます。

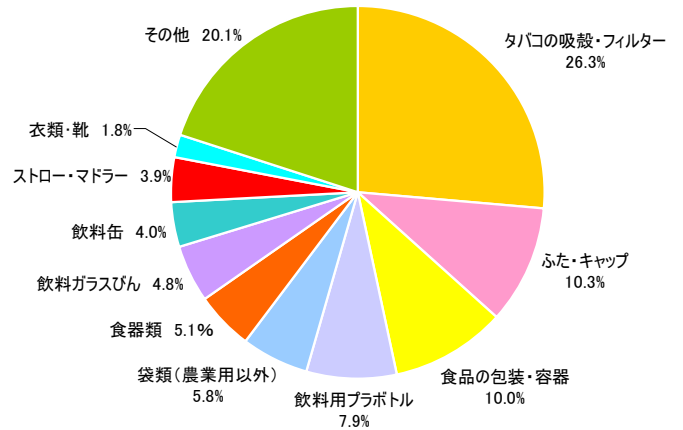
清水港三保真崎クリーンアップデータ (2007年春・秋)



星野さん



世界総合クリーンアップデータ (2005年)



▼代表・星野さんの話▼

清水港に関しては発泡スチロールが多いです。これは漁港や港の特徴だと思われます。船舶の緩衝材や魚などを入れる発泡スチロールが主な発生源ではないでしょうか。飲料用プラボトルやプラスチックシートの破片、ふた・キャップについては家庭から排出されたというより、海に来た人が持ち帰らないために発生したと考えられます。割り箸やタバコのフィルターも同様ですね。その他、「流れ着いた」ゴミも多く、どこから流れてくるのかなど調査して対策を立てていくことも今後必要になってくると思います。

クリーンアップを実施していると思うのは、毎年やってもゴミが減らないことです。海岸付近のゴミを拾っているのに、「浮くゴミ」が多いのですが、水中に沈んでいるゴミがあることも忘れてはいけません。

ただゴミの問題だけで片付けるのではなく、もっと「ライフスタイル」「経済活動」を含めて、ひとりひとりが危機感を持っていくことが大事だと思います。

帆船「日本丸」"ごきげんよう!"

毎年、清水港の秋の風物詩ともなっている帆船の寄港。10月13～18日、帆船「日本丸」が寄港し、セイルドリル、一般公開を行いました。一般公開では5,202人もの方が船の中を見学し、最終日の登しょう礼にはおよそ2,000人の人が岸壁に集まり、訓練生の勇姿を見ながら「ごきげんよう！」と声を返していました。

来年秋にも寄港を予定しています。日程等詳細については、HPに掲載していきますので、ぜひご覧ください。



皆様からのご意見やお問い合わせはこちらまで

424-0922 静岡県静岡市清水区日の出町 9-25 静岡県清水港管理局 企画振興課
TEL054-353-2203 FAX 054-354-0380 e-mail port@mail.wbs.ne.jp



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県建設部